

第14回 歴史まちづくり協議会 議事録

開催概要

■日時 令和2年10月1日(木) 10:00~11:30

■場所 高岡市役所 802会議室 (WEB会議)

■出席者 協議会委員 11名

事務局 17名(高岡市、高岡市教育委員会)

(なお、事務局として都市計画課及び生涯学習・文化財課のほか、事業担当課として都市経営課、文化創造課、商業雇用課、観光交流課、共創まちづくり課、花と緑の課、福岡まちづくり推進室、下水道工務課が出席した。)

委員等名簿

	氏名	役職等	出欠等	備考
1	上野 幸夫	職藝学院教授	欠席	
2	古池 嘉和	名古屋学院大学教授	本人出席 (WEB)	
3	萩野 紀一郎	富山大学芸術文化学部准教授	本人出席 (WEB)	
4	長谷川 孝徳	北陸大学教授	本人出席 (WEB)	
5	蜂谷 俊雄	金沢工業大学教授	本人出席 (WEB)	会長
6	林 暁	富山大学芸術文化学部教授	本人出席 (WEB)	
7	阿部 雅文	富山県土木部都市計画課長	本人出席 (WEB)	
8	宮田 義人	富山県農林水産部農村振興課長	柴田代理 (WEB)	
9	吉田 学	富山県教育委員会生涯学習・文化財室長	越前代理 (WEB)	
10	福田 直之	高岡市産業振興部長	本人出席	
11	杉森 芳昭	高岡市教育委員会事務局教育次長	本人出席	
12	堀 英人	高岡市都市創造部長	本人出席	

会議次第

- 1 歴史まちづくり計画の最終評価(案)について
- 2 歴史まちづくり計画(第2期)(案)について
- 3 今後の予定

審議結果

審議案件(1)、(2)、(3)の内容について、了承された。

2 歴史まちづくり計画（第2期）（案）に関するものについて

委員：資料2-1の7の意見について、趣旨を補足したい。資料2-3 P155に方針が書かれているが、その将来像を実現するためにも、計画で意思を強く示すべきと考える。特に、①歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事等の継承と育成という点において、10年後の姿を達成させることはかなり困難かと思う。関連する計画においても伝統産業に関する記述が少ないように思う。本計画においては、10年後の将来像に近づけるため、例えば、「関連部局と連携しながら生業や暮らしに息づいた風景や景観の保全に努める」や「関連する計画を通じて要請する」または「関連する計画を通じて実現に努める」というようなこと記載し、強い意思を示していただきたい。

事務局：この点については、現在策定を進めている総合計画や産業振興ビジョンのなかでも議論しており、関連部局と連携して進めてまいりたい。また、表現についてはご提案の内容を含め検討していきたい。

委員：「伝統工芸技術」というと産業的に範囲が絞られていく可能性があるので、「伝統的工芸技術」と記載してはどうか。また、歴史的風致に新たに追加されたエリアは住宅地であるが、高齢化が進んでおり、空き家が増えてきている。そのなかで解体できないままのものもある。ここで議論すべきことではないかもしれないが、そうしたことも踏まえ、歴史的風致が継承されるような取組みが必要ではないか。

委員：近代建築をどうしていくのかを検討していくことが、次の段階で重要になってくると思う。実際に、高岡の昭和レトロを評価している若者もいる。

委員：赤レンガの建物などは保存に取り組みされているが、近代建築物については調査・整理されているか。

事務局：以前、近代和風建築について調査（平成6年近代和風建築総合調査 富山県教育委員会）が行われており、市の各種計画にも反映されている。ただし、最新の情報に更新していくことは必要と考える。

委員：個々の建物では歴史的価値はなくとも、町並みとしての保存・継承を考えていくことは必要だと思う。

委員：ストリート整備事業について、AR等を活用していくことは非常に興味深いですが、コロナ禍の中で現地に行くことに対するハードルが高くなっているため、オンラインの中でも体験できるような切り口も考えられたら良いのではないかと。

事務局：まずは、現地へ来ていただくことを想定しているが、今の意見を踏まえてオンラインを活用した取組みについても検討していきたい。

3 今後の予定

委員：パブリックコメントについては、より多くの意見をいただけるよう工夫していただきたい。また、アクセス数などについても注視していきたいので、確認をお願いしたい。

委員：ホームページだけでなく、地域のコミュニティへの協力を得るなどして、取り組んではどうか。

事務局：いただいた意見を踏まえて、周知の仕方を検討したい。

以 上